

みなとっ子

ひたちなか市立那珂湊第一小学校

学校だより第10号 令和7年2月4日発行

笑顔いっぱい 夢いっぱい 共に伸びる学校



立春を迎え、梅の花がほころび、春の訪れが待ち遠しく感じられるようになってきました。冷たい風の中でも、子どもたちは、短縄や大縄の練習に元気に取り組んでいます。

また、1月の中旬には、書き初め会が行われ、一つ一つの文字には、子どもたちの思いが込められていました。今年度も残り2か月となり、一年間のまとめの時期を大切にして、次の学年への準備期間としてほしいことを子どもたちには話しました。そのために、「自分がどのようにになりたいか目標をもちましょう」ということと、「相手を大切に」という話をしました。「一緒に～しよう」「大丈夫?」相手を思いやる言葉は、人を幸せな気持ちにさせるという内容です。子どもたちが、今の自分より一歩前へ進めるように、そして、一歩進めることができたなら、共に喜べるように、保護者の皆様と、小さな積み重ねを大切にしていきたいと思えます。



昔遊びの会

なわとび大会にむけて

1月15日(水)に1年生が生活科で昔遊びの会を行いました。当日は、みなとみまもり隊の10名の方にゲストティーチャーとして、御協力をいただきました。

子どもたちは、グループごとに、種目を選び、昔遊びにチャレンジしました。体育館では、ケンパー、竹とんぼ、羽子板。体育館通路では、缶ぽっくり。生活科室では、あやとり、お手玉、おはじきを教えていただきました。日常では遊ぶ機会のない道具に触れて、ボランティアの方と一緒に交流でき、とても楽しそうでした。

学年ごとに、なわとび大会が実施されました。種目は持久跳びと種目跳びです。持久跳びは、途中で失敗しても時間内は跳び続けます。学年ごとに目標回数が決まっています。

1月は休み時間に、なわとびタイムがあり、全学年外に出て、短縄や大縄の練習を行いました。体力づくりとして継続して取り組めると良いですね。



外部講師やボランティアの皆様と

1月29日(水)はカウンセラーの先生が来校し、6年生に授業を行いました。中学生になると、いろいろな学校の友達と接する時間が増えるので、話の聞き方のポイントを考えました。また、5年生は、初めてのミシン学習を行っています。ボランティアの方が、グループに入って、ミシンの使い方を教える手伝いをしてくださっています。

